

2024年(令和6年)8月9日(金曜日)

富士ニュース

富士宮高校会議所はこのほど、とがみえん北児童クラブの小学生と一緒に育てた外神のヒマワリ畑に迷路を築き、子供たちを楽しませた。ヒマワリ畑は、高校会議所のオリジナル堆肥を活用したSDGs実践「マスマス元肥(げんび)」を使って耕作放棄地をよみがえらせよう「プロジェクトの一環として設けた。約1,000平方㍍の空き地を耕作し、近隣の児童クラブの子供たちと交換して設けた。約1,

流しながらヒマワリを栽培している。迷路の完成披露では、高校会議所メンバーを先頭に、児童クラブの子供たちがゴールを目指した。通路を挟む大輪の花に笑顔を広げ、ゆっくり歩を進めた。ヒマワリの種から油を作り、新商品の開発につなげる取り組みもあり、昨年度は「ひだまりのしづく」と名付けたヒマワリ油を完成させ、地元の菓子店と連携してシフォンケーキを作った。

ヒマワリ迷路楽しむ 高校会議所と児童クラブ



高校会議所メンバーが迷路を案内(提供写真)